



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 51 号・2019 年 10 月発行

北加日本語教師会 2019 年秋の例会

November 10, 2019

University of California, Berkeley

会長挨拶



会長挨拶 永田憲子



皆様、秋学期はいかがお過ごしでしょうか。サンフランシスコは秋晴れの続く快適な日々となっています。一方、カリフォルニアが乾燥しすぎて危険にさらされていることを耳にします。地球温暖化のために気象が異常に変化し、世界各地に自然災害をもたらしています。日本も 10 月半ばに未曾有の強力な台風が関東地方を直撃し、多くの川の堤防が決壊して川が氾濫し、甚大な被害をもたらしました。被災された方々が誠にお気の毒で、大変心が痛みます。一日も早い復興を祈っております。

今年の秋例会は 11 月 10 日（日）にカリフォルニア大学バークレー校で開催いたします。今回はトピックを日本語 AP 試験に絞り、現在 AP チーフリーダーをなさっている増山和恵先生（カリフォルニア州立大学サクラメント校）に、AP 試験の目的、内容、改定版、AP のカリキュラムと指導、高校と大学間での相互理解など、AP に関するあらゆる課題を扱っていただき、活発な意見交換の場になればと思っております。AP 試験は日本語教師として熟知しておく大切なテーマですので、皆さまお誘いの上、是非お越しください。以下が秋例会のおおまかなスケジュールになっております。

NCJTA
2019
秋の例会



11月10日（日）NCJTA 秋例会プログラム

University of California, Berkeley
370 Dwinelle Hall, Berkeley, CA 94720-2230

- 9:30 会費納入・例会登録の確認と受付（お茶とお菓子のサービスあり）
- 10:00 -10:05 会長から開会の挨拶 永田憲子 サンフランシスコ大学
- 10:05-12:15（途中 10 分休憩あり）ワークショップ
増山和恵 カリフォルニア州立大学サクラメント校
2019 年 7 月から AP チーフリーダー

タイトル：「AP Japanese Language and Culture Exam」

AP Japanese Language and Culture Exam が 2007 年に始まってから早くも 12 年が経ちました。今年も学習へ高い意欲を示す高校生たち 約 2,500 人がこの試験を受けました。まず、このワークショップでは AP Exam の形式と構成、過去の試験問題、結果、そして、どのように大学入学の際に単位互換されているかについてお話します。次に、参加者の先生方に実際に AP の試験サンプルを受けていただき、そのうちの Free Response Questions がどのように Reading（採点）されるのかについて体験しながら、試験への理解を深めていただければと思います。そして、今年の 8 月から導入された New Course Resource を簡単にご紹介します。その後、Course Themes や Course Skills (Skill Category 1-8) についてお話します。後半は参加者の先生方がさらに積極的に意見を出し合う場にしたいと思います。まず、AP を教えていらっしゃる先生には AP カリキュラムについて、そして大学の先生からは AP を受けた学生の placement や授業に置けるパフォーマンスについて報告していただければと思います。そして、AP Curriculum/Exam を通しての高校と大学間でのアーティキュレーションの可能性・課題などを共に考察し、活発な意見交換ができればと思います。

- 12:15-12:20 会長から閉会の挨拶、写真撮影

なお、今回から会員登録と例会登録を共にオンラインでできるようにしました。以下のウェブサイトから 11 月 6 日（水曜日）までに登録をお願いいたします：<http://www.ncjta.net>

詳しくは以下会計からの欄をご覧ください。

NCJTA 会計から



NCJTA 会計から

1) 会員登録と会費納入について

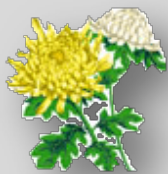
NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。この秋より、会員登録・会費納入が NCJTA のウェブサイト上で行えるようになりました。2019 年度分の会費（2019 年 1 月から 12 月まで有効）を未納の方、新会員の方はウェブサイト（<http://www.ncjta.net>）から「会員登録」をクリックして、会費の納入をお願いします。なお、ウェブサイトでの手続きに手数料がかかるため、会費に一ドルの手数料を上乗せした金額になっております。あらかじめご了承ください。

2) 秋の例会レジストレーションについて

今年度の秋の例会は 11 月 10 日（日曜日）に UC Berkley にて開催されます。会員の方は事前登録の上、無料でご参加いただけます。非会員の方も、会員になっていただければ無料参加ですので、どうぞこの機会に日本語教育関係者にお声をおかけください。秋の例会のレジストレーションもウェブサイト（<http://www.ncjta.net>）にて行えます。締め切りは11 月 6 日（水曜日）までです。会費をすでに納入している方は、「参加登録のみ」をクリックして事前登録を、未納の方・新会員の方は「会員登録」ならびに「参加登録」をお願いします。なお、事前の登録に間に合わない場合は、当日直接例会の受付にて登録することも可能ですが、その場合はお茶・お茶菓子代として 3 ドルお支払いください。よろしくお願いいたします。

（文責：斉藤、近藤）

秋の役員会議事録



秋の役員会議事録

日時：2019 年 8 月 25 日午前 11 時から午後 2 時まで
場所：211 Kalmanovitz Hall, University of San Francisco
出席者：永田、南、三上、田中、熊倉、鈴木、伊藤、森山、和氣、今川
斉藤（記）

議題

- 春の役員会議事録の承認
- 会計報告
- 秋の例会について
 - 今年の FLANC（9 月 21 日開催）は日時が例年よりかなり早く、NCJTA の秋例会を一緒にすることが難しい。従って、今年の NCJTA 秋会は 11 月に別の場所で独自に開催する。
 - カリフォルニア州立大学サクラメント校の増山先生に AP の修正版について発表を依頼
 - 午前 10 時から午後 12 時 場所は未定

2019 年 春の例会報告



- 登録料：会員は無料。非会員には会員登録してもらう。
- NCJTA のウェブサイトについて
 - オンラインで更新可能なサービスに移行する。サーバー・レンタル代として、NCJTA が毎月 8 ドル払う。
 - 今後、年会費納入や例会の登録、お弁当の申込などをウェブサイトできるように三上先生に手配していただく。
- ニュースレターについて
- 日本語弁論大会について
 - 在サンフランシスコ日本国領事館、北加日米会、NCJTA による日本語弁論大会。11 月 3 日（日曜日）、会場は JCCCNC。NCJTA から 100 ドルを寄付。
- 日本語能力試験について
 - 12 月 1 日（日曜日）開催。試験監督できる方は南先生へ連絡。
- 役員任期満了に伴う改選について

（文責：斉藤）

春の例会

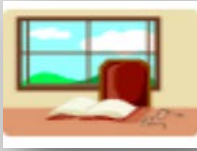
今年 5 月 5 日北加日本語教師会春の例会がサンフランシスコ大学に於いて開催され、約 30 名の会員が参加し、以下の二つのテーマについて活発な話し合いが行われました。

午前中の発表では、スタンフォード大学の久保百世先生と向井絵美先生が「大学多読授業の実践例紹介」という題目で、多読授業が成功するための準備・考慮すべき点などを明示しながら、実践例を紹介して下さいました。発表に続くワークショップでは、実際に多読を体験し、カリキュラムに取り入れるとしたらどんな問題点があげられるかなど、ディスカッションが行われました。

午後の発表では、カリフォルニア州立大学サクラメント校の増山和恵先生が「2020 年東京オリンピックを取り込んだ日本語授業の実践報告」という題目で、学習者の興味のあるトピックに基づいて実際に行った授業を報告して下さいました。発表に続くワークショップでは、グループに分かれ、東京オリンピックユニット、もしくはレッスンプランを作成し、その可能性について話し合いました。

（文責：宮本）

『言葉の窓』



『アメリカ生活の中での和歌』

熊倉昭彦先生

ディアブロバレーカレッジ

私が中学校の頃学校で出会い、その後ずっとお気に入りだった和歌があります。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる
(藤原敏行 古今和歌集 秋歌上)

古今和歌集の中でも有名なうたなので、ご存じの方も多いのではないかと思います。

藤原敏行は平安時代の歌人、三十六歌仙の一人で、小倉百人一首にも

住の江の岸による波よるさへや夢の通ひ路人目よくらむ

のうたが載せられています。



私がこのうたに出会ったのはまだ日本語や日本文学に全く興味がなかったころなのですが、なぜか学校で習ったこの一首が心に残り、それからしばらく、夏の終わり、なにか秋の気配を感じるたびにこのうたを思い出しました。毎日暑い盛りにほんの少しだけ秋の訪れを感じさせる気配に何か寂しさのような魅力を感じていたのかもしれない。

そのうちそのうたのこともすっかり忘れ、大学を卒業ししばらく文学的なことから全く遠ざかった日々を過ごした後、思いもかけずアメリカの中西部の大学院で和歌の変遷の歴史を勉強することになりました。初めは今のテキストメッセージやメールのように、貴族の生活の中のコミュニケーション手段として重宝された和歌が、歌合せや屏風絵などを通し次第に芸術化されていった過程に惹かれ、しばらく古今和歌集をはじめいろいろな歌集を読みふけりました。自然に対する繊細な美意識を詠んだ数多くのうたに、ダイナミックな季節の移り変わりをみせるアメリカの中西部で接するのは何とも対照的で奇妙な感じがしたのを今でもはっきり覚えています。大雪が降った一、二週間後にエアコンをつけるなどということを何度も経験し、風土が人間に影響を与えるといったのは和辻哲郎だったろうか、と遠い昔に学校で習ったあやふやな知識を振り返りながら、やはりこのようなうたは日本のような細やかな季節の移り変わりがあるところでないと思えないのだろうと一人で納得していました。

和歌の勉強をやめ歌集をひらくことがなくなった後もそんな独りよがりの状態が何年も続いていたのですが、カリフォルニアに住むようになってから、次第に今まで気づかなかったようなささいな季節の移り変わりにふと気づくことが多くなりました。カリフォルニアの気候も中西部ほどではないですが、日本に比べダイナミックです。それでも、年齢を重ねるにつれ自分の感性が少しずつ変わってきたのだらうと思います。先日も、住んでいる町の最高気温が100度を超えて寝苦しかった次の朝早く、すこし下がった外気に触れて、突然「秋来ぬと」のうたが頭をよぎりました。

風土が文化や言語にある程度の影響を与えることはあるとしても、最終的には受け手の感受性が大きいのではないのでは考えるようになりました。当たり前の話ですが、文学者というのは風土の豊かな土地にだけに存在するものではありません。どんな場所にしようとも感受性の強い人はその環境での素晴らしいさを見つけるだろうし、逆もまたしかりだと思います。

宇治拾遺物語や今昔物語に地獄に落とされて帰ってくるという、怖いながらもなんだか劇的なエピソードも残っている敏行のこと、カリフォルニアや中西部に住んでいたらさぞ豪快なうたを詠んでくれるだろうと想像してしまいます。また、自分の経験から、一人の人間の感受性も環境や年齢を重ねることによって変わっていくのだと感じました。若いころには気づきもしなかったことを感じて楽しめる、そう思うと年をとっていくのも悪いことではないですね。

本棚の隅に何年も置き去りにされていた古今集ですが、最近は時折季節の移り変わりを感じるとその季節のうたを拾い読みしています。以前接した時には感じなかった印象をもつことも多く、千年も前に詠まれたうたをアメリカの生活に当てはめて楽しんでいます。

第6回 2019年「お茶三昧」茶の湯と茶文化に関する サンフランシスコ国際会議

第6回「お茶三昧」茶の湯と茶文化に関するサンフランシスコ国際会議は2019年4月28日（日）にサンフランシスコ州立大学で開催されました。今回は「シルクロードと大航海時代 ～世界交易が茶文化の発達にもたらしたもの～」と題して「ペルシア圏における茶の伝播と消費に関する歴史的考察」、「日本における唐物の受容 北からと南から」といったお話がありました。鈴木一弘氏が運営していられる鈴木時代裂研究所（京都）による裂地（きれじ）の展示は、とても興味深いものでした。鈴木時代裂研究所は400年程前の中国から舶載された染織品である「名物裂」、と印度からの「古渡り更紗」などの染織品を収集、研究、復原をしていられるそうです。「名物裂」と「古渡り更紗」は、400年前、大名や茶道の巨匠達を魅了したそうで、学会参加者は茶の湯に対する知識を一層深めることができる機会をいただきました。
（南雅彦）



復元納戸地花籠立華文風通金襴
鈴木時代裂研究所提供



鈴木時代裂研究所 所長 鈴木一弘氏



お知らせ

総領事館インフォメーションセンターからのお知らせ

1. 第46回日本語弁論大会のお知らせ

北加日米会、北加日本語教師会及び在サンフランシスコ日本国総領事館は、第45回日本語弁論大会を以下の通り開催します。本弁論大会は、より多くの皆様に日本語を学習していただき、日頃の学習成果を披露していただくことを目的に行います。参加及び入場は無料です。奮ってご参加ください（詳細は当館ホームページをご参照願います）。

【日時】2019年11月3日（日）午前10時：中高校生の部、午後1時半：大学・成人の部

【会場】Japanese Cultural and Community Center of Northern California (1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115)

【総領事館ホームページ】http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/m07_02_06.html

2. JET プログラムの募集開始

JET プログラムの募集が10月に始まります（応募書類は在アメリカ合衆国日本国大使館のホームページから入手可能です）。

JET プログラム（The Japan Exchange and Teaching Program）とは、アメリカをはじめとする外国の青年を日本の地方自治体で雇用し、学校における英語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。JET 参加者はいずれも大都市から地方の中小都市や農村漁村まで、全日本の津々浦々に配置されます。日本や国際交流に関心のある学生の皆さんに是非ご案内ください（なお、大学卒業が応募要件の一つとなっています）。

3. 年賀状コンテストの開催

当館は、小学生及び中学・高校生を対象にした「年賀状コンテスト（2020年子年）」を今年も開催します。詳細は改めてご案内しますが、12月から1月中旬にかけて作品を募集し、1月後半以降、当館広報文化センターにおいて応募いただいた全ての作品を展示する予定です。例年多くの作品が集まり、審査にも大変力が入るコンテストとなりました。今年も是非奮ってご応募ください。

（サンフランシスコ日本国総領事館 草清理絵）

第46回日本語弁論大会開催のお知らせ

北加日米会、北加日本語教師会、および在サンフランシスコに日本国総領事館は、第46回日本語弁論大会を以下の通り開催します。本弁論大会は、より多くの中高生や社会人に日本語を学習してもらい、日頃の日本語学習の成果を披露してもらうことを目的に行います。参加および入場は無料です。

中高生の部の参加資格は、（1）現在、日本語を外国語として学習している中学生・高校生、（2）6歳以後1年以上日本に継続滞在経験がないこと、

（3）過去に、本コンテスト中高生の部で優勝経験がないこと、となっています。

大学・成人の部の参加資格は、(1) 米国市民権及び永住権保持者または有効な米国滞在資格を保持している者、(2) 大学生又は18歳以上の日本語学習者、(3) 6歳以後4年以上日本に継続滞在経験がないこと、(4) 過去に本コンテスト大学・成人の部で優勝経験がないこと、となっています。

ちなみに、参加申込み締切は、10月10日(木)午後5時必着となっています。本大会に関する詳細については、総領事館ホームページにも掲載されますので、ぜひご覧ください。

(南雅彦)

■日時：2019年11月3日(日)

午前10時より：中高校生の部

午後1時半より：大学・成人の部

■会場：Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC), 1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115

本件問合せ先：

在サンフランシスコ日本国総領事館

住所：275 Battery Street, Suite 2100, San Francisco, CA 94111

文化事業コーディネーター 武井真理子 mariko.takei@sr.mofa.go.jp

電話：415-780-6085 (広報文化センター)

46th Annual Japanese Speech Contest

The Japanese American Association of Northern California (*Hokka Nichi Bei Kai*), the Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA), and the Consulate General of Japan in San Francisco are delighted to announce the 46th Annual Japanese Speech Contest on Sunday, November 3, 2019, at the Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC) located in San Francisco's Japantown.

(Masahiko Minami)

- **DATE/TIME:** Sunday, November 3, 2019
 - 10:00 a.m.: Middle and High School Students
 - 1:30 p.m.: College Students and Adults
- **PLACE:** Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC), 1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115

The primary objective of this contest is to encourage the learning and use of the Japanese language in the San Francisco Bay Area community, particularly among non-native speakers of Japanese. Consisting of (1) the **Middle and High School Student Division** and (2) the **College Student and Adult Division**, the speech contest represents a fun and challenging way for students at all levels to demonstrate their language and communications skills.

An eligible contest participant in the **Middle and High School Student Division** (a) must be a middle or high school student currently studying Japanese as a foreign language, (b) has not lived in Japan for more than 12 consecutive months after the age of six, and (c) has not previously won first prize in the Middle School and High School Student Division of this contest.

Likewise, An eligible contest participant in the **College Student and Adult Division** (a) must be a U.S. citizen or permanent resident of the United States, or who has a valid U.S. visa, (b) must be a current college student, or an adult over 18 years of age, (c) has not lived in Japan for more than four consecutive years since the age of six, and (d) has not previously received first prize in the College Student and Adult Division



of this contest. The application deadline this year was no later than 5:00pm on Thursday, October 10th, 2019.

This event is free and open to the public. We hope to see you there! We also hope that you will share this information with anyone you think may be interested in joining the contest.

For further inquiries:

Consulate General of Japan in San Francisco

Address: 275 Battery Street, Suite 2100, San Francisco, CA 94111

Attn.: Ms. Mariko Takei, Cultural Affairs Coordinator, Consulate General of Japan in San Francisco

E-mail: mariko.takei@sr.mofa.go.jp

日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test) の お知らせ

習得した日本語能力を客観的に測定し、これを公的に認定する制度である『日本語能力試験 (JLPT)』が、今年度もサンフランシスコ州立大学で12月1日 (日) に実施されます。試験監督としてご協力いただいている経験豊富な日本語の先生の皆様にはたいへんお世話になっております。

本年の JLPT は全米で 18 の試験会場で開催されますが、サンフランシスコ会場の受験者定員 650 名は、ロサンゼルス会場の 700 名に次ぎ全米 2 番目の規模となっています。また、特別措置を必要とする受験者も例年数名います。このように大規模になりますと、NCJTA 会員の先生には今年度も試験監督をお願いしなければなりません。何卒、本年も引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。もしお手伝いいただけるようであれば、南 mminami@sfsu.edu までご連絡ください。

現行の JLPT 試験形式は、5 レベル、N1 (Advanced)、N2・N3 (Intermediate)、N4・N5 (Beginner) となっています。試験科目は、「言語知識 (文字・語彙・文法)」「読解」「聴解」の 3 セクションに大別できますが、最も難易度の高い N1 と、その次に難易度の高い N2 では「言語知識」と「読解」が一つの試験科目として 1 セクション、つまり、全体で 2 セクションとなっていますので、ご注意ください。ちなみに、受験願書の受付期間は 8 月 26 日から 9 月 30 日となっていました。

(南雅彦)

「第 7 回お茶三昧：茶文化と茶の湯に関するサンフランシスコ国際会議」お知らせ

Sunday, April 26, 2020, San Francisco State University

Theme: Tea Culture in the Edo Period, 1603-1867 江戸時代の茶文化

Guest Speakers:

Naoko Umemura, Deputy Iemoto, Hosokawa Sansai School of Tea 細川三斎流お家元代理梅村尚子氏

Nobuko Fukaya, “New Kobori Enshu” 深谷信子氏 「新たな遠州像」



Patricia J. Graham, “Searching for the Spirit of the Sages: The Japanese Tea Ceremony for Sencha” パトリシア・グラハム氏「賢人の精神を探ねて：日本における煎茶道」

Yoshiyuki Miyatake, “Lord Matsudaira Fumai’s Tea and Utensil Collections” 宮武慶之氏「松平不昧公の茶の湯と茶道具」

先生の紹介欄



富山佳子先生

- お名前を教えてください。
富山佳子（とみやまよしこ）
- 教えている学校名、町を教えてください。
スタンフォード大学、スタンフォード市
- 日本語教師はいつから？
スタンフォードでは13年、日本の大学でも数年教えていました。
- ご趣味は？
旅行
- 日本の出身地は？
京都
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。
18年
- 仕事について、何か一言お願いします。
毎日学生に笑顔と元気をもらっています。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
どうぞ宜しくお願い致します。

高木富美子先生



- お名前を教えてください。
高木富美子（ふみこ）です。
- 教えている学校名、町を教えてください。
ジャパンソサエティ、サンフランシスコ校です。

学校からの
ニュース！

ローザパークス
JBBP 小学校
加藤貴子

- **日本語教師はいつから？**
13 年ほど前に娘が通っていた土曜日の日本語学校を手伝ったのがきっかけで、8 年ほど前からは大人のクラスを教え始めました。
- **ご趣味は？**
中々時間がないのですが、海や山に行って自然と親しむのが好きです。普段はヨガや U JAM、タイガーなどをしています。バスケットボール観戦も大好きです。
- **日本の出身地は？**
奥の細道の結びの地である岐阜県大垣市です。
- **アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。**
カリフォルニアに来てちょうど 23 年になります。
- **仕事について、何か一言お願いします。**
日本が大好きな生徒さん達に日本語を教えるというこのお仕事はとても楽しくやりがいがあります。クラスの中で良いコミュニティが出来ていくのも嬉しい事です。
- **会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。**
前回の例会に参加させて頂き、大変勉強になりました。今後ともよろしく願い申し上げます。

私の学校でこんなことが……

9 月 27 日金曜日、サンフランシスコのレイモンドキンベルプレーグラウンドでローザパークス JBBP 小学校の運動会が行われました。

今年 20 回目の運動会を迎えたローザパークス JBBP 小学校は、ジャパントウンの近くにある公立の日本語バイリンガルの小学校です。

当日は前日の天候と打って変わって霧雨が降る中、朝早くから保護者や教員達で準備が行われましたが、開会式が行われる頃には雨も止み、運動会は 260 名の元気いっぱいの児童達によって盛大に行われました。

近くのシニアの方々やプリスクールの子供達を招待し、プリスクールの子供達や保護者も参加して玉入れや綱引きが行われた他、徒競走やリレー競技などで運動会は最後まで盛り上がりしました。

児童達は、運動会を通して全力で頑張ることや仲間を応援すること等たくさんのかことを学び、日本の文化を体験できた一日になりました。



大球転がしリレー



玉入れ



綱引き

ワシントン高校
森川知計先生



Annual OnigiriAction @ George Washington HS in San Francisco
Onigiri Action について: <https://onigiri-action.com/en/>

UC バークレー
柴原千佳先生



初級クラスの学生たちによるコメディ仕立ての「料理の鉄人」。Words in Action (A Multilingual Student Performance) で多くの方に見ていただきました。

北加日本語教師会
連絡先

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.net/>
NCJTA. c/o Nagata Noriko
Modern and Classical Languages, Kalmanovitz Hall 382
University of San Francisco
2130 Fulton Street, San Francisco, CA 94117-1080
E-mail: nagatan@usfca.edu

<役員>

会長：Noriko Nagata 永田憲子（同上）

副会長：Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

書記：Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

会計：Kondo Mayu 近藤真由
San Jose State University
E-mail: mayu200987@gmail.com
Momoe Saito Fu 斉藤百恵
Stanford University
E-mail: msfu@stanford.edu

ニュースレター編集：Yuriko Miyamoto 宮本百合子
University of California, Berkeley
E-mail: ymcaltabiano@berkeley.edu
Kayoko Imagawa 今川香代子
University of California, Berkeley
E-mail: kimagawa@berkeley.edu

広報：空席

フランク連絡員：Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu
Nobuko Takamatsu 高松信子
E-mail: nobukot@sbcglobal.net

ウェブ担当：Koraku Mikami 三上香楽
Eimei University
E-mail: tmfrontier@gmail.com

<各レベル代表>

小中学校代表：Kaori Waki 和氣かおり
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: kwaki@sbcglobal.net
Rie Tanaka 田中理恵
Presidio Middle School
Email: rietanaka@gmail.com

高校代表：Tadashi Suzuki 鈴木正
John F. Kennedy High School
E-mail: tadashiszk@yahoo.com

学園代表：Nanako Moriyama 森山なな子
Sakura Gakuen
E-mail: nanakom.sakuragakuen@gmail.com

コミュニティーカレッジ代表：Akihiko Kumakura 熊倉昭彦
Diablo Valley College
E-mail: AKumakura@dvc.edu

大学代表：Junko Ito 伊藤潤子
University of California, Davis
E-mail: jito@ucdavis.edu



Northern California Japanese Teachers' Association